

道

2018年7月



ブナ(上蒜山)

6月◇日。地域の集まりで、社協の女性職員が話している。その声が聞きづらい。右耳がおかしい。次の日、仕事を休んで耳鼻科受診した。その医師の言葉「普通の会話なら問題ありません。ただし、右耳高音部聴力に年齢相応の衰えが認められます」。▼6月〇日。眼科の定期受診。「緑内障」と診断されたのが1年半ほど前。点眼薬は死ぬまで続ける。この日、眼科医は僕にこうも言う。「白内障は、いつ手術をしてもいいような状態です」。▼6月☆日。かかりつけ医の定期受診。主に高血圧で。「塩分は控えていますか。お酒も程々に。いつもの薬を出しておきますね」。▼6月△日。腹部に赤い発疹ができ、チクチク痛い。とりあえず「リンデロン」を塗って数日様子を見るが治らない。それどころか背中などにも広がる。痛みも強くなったように皮膚科受診する。「帯状疱疹」。抗ウィルス剤が処方される。この薬はアルコールと相性がよくないとのこと。忠告を受け、4日半、断酒する。▼「林さんは若く見える」と言ってくれる人がいる。悪い気はしない。しかし、体の中身はこの通り。ごまかしがきかない。そのうち、「脳梗塞です」「癌です」「認知症です」などという日も来る。▼看護師の田村恵子さんが、新聞で、病气や死に「正面から向き合う」こと、「体の声を聴き、あるがまま受け入れる」ことの大切さを説いている。そうなんです。ですが、……。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

090-5366-1497

michi-care@outlook.jp

<https://michi-care.jimdo.com/>

林道也

遠田 棕の木

